

くらぼ



広島県立広島中央
特別支援学校
(盲学校)
教育相談だより

No. 59 令和3年10月発行

～本校は視覚に障害のある方のための学校です。

東京2020パラリンピック開催

今回のパラリンピックはテレビでの放映も多く、御覧になった方も多いのではないのでしょうか。実施された全22競技のうち、視覚障害者の参加する競技は9つありました〔陸上競技、自転車、馬術、5人制サッカー（ブラインドサッカー）、ゴールボール、柔道、ボート、水泳、トリアスロン〕。本校では、5人制サッカーやゴールボールでは卒業生が代表選手として出場したこともあり、試合の結果に一喜一憂。ゴールボール女子の銅メダル獲得もあり、大いに盛り上がりました。



パラリンピック競技の特徴の1つとして、用具やルールの工夫があります。走り幅跳びを例にすると、全盲の視覚障害者の場合、跳ぶこと自体はできますが、走る方向や踏切位置を視覚で確認することができません。そのため、「踏切位置からスタート位置まで歩数を数えながら歩き、事前に踏切位置までの距離を確認する」「掛け声や手拍子で踏切位置を知らせる」「踏切位置を広くする」といった工夫がなされています。

視覚障害者にとって音の情報は大切です。パラリンピックの競技を見ていると、実は、音などの情報を基にして空間をイメージする力が求められることに気付かされます。5人制サッカーやゴールボールでは音の鳴るボールを使用しますが、音を手掛かりにして、ボールの位置、動きの方向や速さなどをイメージし、自分がどう動くかを瞬時に判断しています。ボールだけでなく、相手の位置や動きなど、複数のことに意識を向けて全体像を作り上げなければなりません。こうした力をどのように育てていくか、空間概念の指導の重要性を改めて感じます。



視覚障害者はどうしても運動の機会が少なくなりがちです。パラリンピック競技での工夫は、遊びや体育の授業などにおいても参考になります。安全で安心できる環境の中で、たくさんの運動経験が積めるように工夫していきたいものです。



書籍紹介「闇を泳ぐ」

「この日って本当にくるんだな」これは、東京パラリンピック水泳（100mバタフライ）で金メダルに輝いた木村敬一さんによる、レース後のインタビューでの言葉です。北京パラリンピックで銀メダルと銅メダルを獲得したときからずっと目標にしてきた9年越しの金メダル。思い返すたびに感動がよみがえります。

木村さんの著書『闇を泳ぐ 全盲スイマー、自分を超越して世界に挑む。』には、2歳で視力を失った木村さんが、何を感じながら、どのように生きてきたかが描かれています。東京パラリンピックまでの道のりや、幼少期や学生時代のエピソードからは、木村さんのまっすぐな人柄が伝わってきます。ユーモアもふんだんに盛り込まれ、楽しみながら読み進めることができる1冊です。



教育相談の1コマより

9月現在、乳幼児4名、小学生13名、中学生3名、高校生2名が定期的に教育相談を利用されています。検温や消毒などの感染症対策を徹底した上で、個別での相談を中心に行っています。

学齢児の教育相談では、弱視児童生徒の見え方に応じて単眼鏡やルーペなどの視覚補助具の活用を中心に学習しています。その中で、絵カードを見せることがあるのですが、ときどき何の絵なのか分からないといった弱視児童生徒もいます。そうした場合は、実物や写真などをしっかり見せて、それがどんなものなのかしっかりと説明をしています。

弱視の場合、何ができていて何ができていないかは周りの人も気づきにくいものです。見えていると思っても、実はぼんやりとしか見えておらず十分に理解していないこともあるかもしれません。もう知っているだろうと思うものもしっかりと見る経験を積み上げていくことが大切になります。また、見るだけでなく、触る、においをかぐなど、実物を通じた体験も必要です。いろいろな場面で、そんなふうに考えて接すると、弱視児童生徒がしっかりものを見る機会が増えていくと思います。

視力測定のA B C Dって？



学校で行う視力検査は、「1.0」「0.7」「0.3」の3種類の大きさの視標のみを用いて判定し、A (1.0以上)、B (0.9~0.7)、C (0.6~0.3)、D (0.3未満)の4段階で評価をします。眼鏡やコンタクトレンズでの矯正も難しく「D」判定となる場合は本校への相談を考えてみてください。目の状態に応じたアドバイスや専門的な指導を行っています。

【お知らせ】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月に予定していたオープンスクールは中止しました。教育相談や学校見学、授業体験は、個別に対応しますので、希望される場合は、視覚障害教育相談支援センターに御連絡ください。

ホームページを随時更新しています。幼稚部の「はつか大根の種まきをしたよ！」や、寄宿舎の「誕生日セレモニー」など、各部の取組についても更新しています。「学校紹介ビデオ」「ミニ先生大集合！ぼくのわたしの学習方法！」などの動画も是非御覧ください。

<http://www.hiroshima-sb.hiroshima-c.ed.jp>

教育相談主任：教諭 おおさい まこと
大財 誠
TEL 082-229-4134

